

博士前期課程

	前学期	後学期
1年次	<b>●関係科目</b>	
	臨床心理学の心構え 2	臨床心理面接特論 II 2
	臨床心理学特論 I 2	臨床心理学特論 II 2
	臨床心理面接特論 I 2	臨床心理査定演習 II 2
	認知心理学特論 2	産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開) 2
	臨床心理査定演習 I 2	心理療法特論 I 2
	心理学研究法特論 2	学習心理学特論 2
	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開 I) 2	心身医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開 II) 2
	ポジティブ心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践) 2	
	臨床心理基礎実習 2	臨床心理実習(心理実践実習) I 5
2年次	臨床心理実習(心理実践実習) II 10	
	臨床心理実習 III 2	
	臨床心理査定演習 III(心理的アセスメントに関する理論と実践) 2	心理療法特論 III(心理支援に関する理論と実践) 2
	心理療法特論 II 2	臨床心理地域援助特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践) 2
	社会病理学特論 2	学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開) 2
	母子関係特論 2	司法心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) 2
	福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開) 2	
1年次・2年次	<b>●専修科目(修士研究)</b>	
	臨床心理学研究 8	

学習・教育目標

社会に役立つ心理臨床家、および、科学的素養を有した心理臨床家を育成することを目標としている。そのため、臨床心理学や関連科学の知識の修得と同時に、専修科目における修士論文の作成、さらに、カウンセリングや心理療法(臨床心理学的介入)の基礎、心理検査の実施と解釈(臨床心理査定)の基礎、臨床心理学的地域援助の実際を、役割演技や、付属の臨床心理センターをはじめとする実習施設において修得することが課せられる。